

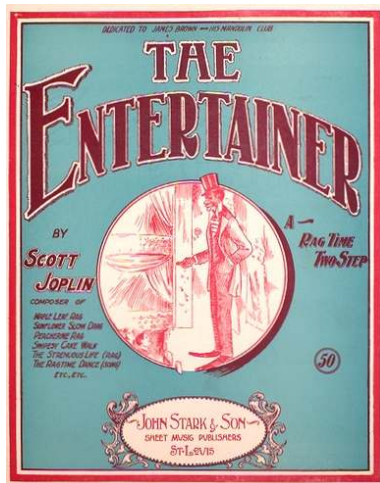
What's Ragtime?

ラグタイム紹介 講演・演奏会

20世紀初頭に、米国を中心として
世界的に流行した“庶民音楽”ラグタイム。
その歴史と音楽の概要を 演奏を交えて紹介する
「講演・演奏会」を 前半にお送りします。

第一部 企画演奏 青木ギター教室（名古屋市天白区）

Ragtime ラグタイム ～ 20世紀初頭の 庶民的・流行音楽



『ジ・エンターテイナー』

作曲 スコット・ジョプリン

発表 1902年 米国

販売 シート・ミュージック

出版 J・スターク

演奏 ピアノ独奏

楽想 ラグタイム



ポピュラー音楽と音楽産業のおこり
米国における黒人の社会的な自立
素晴らしい音楽：ブームと普遍性

【資料画像引用】 Professor Bill Edwards. MIDI by Ragtime Betty.

Ragtime ラグタイム ～ 20世紀初頭の 庶民的・流行音楽



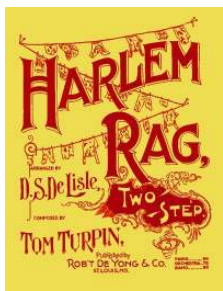
「ラグタイム全盛時代のアメリカ」

- 1863 奴隷解放宣言
- 1894 工業生産 世界一
- 1896 「隔離しても平等」判決
- 1899 "Maple Leaf Rag" 出版
- 1904 セントルイス 万国博
- 1914 第一次大戦 開戦
- 1917 Scott Joplin 逝去
- 1920 世界初のラジオ放送

金ぴか時代 ～ 経済的發展・余裕
黒人の社会進出と意識向上・対立
音楽の「大衆化と産業化」幕開け

【資料画像引用】Street Railway Journal 1900.

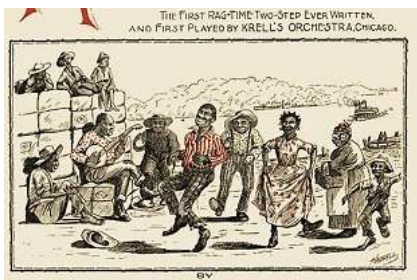
Ragtime ラグタイム ～ 20世紀初頭の 庶民的・流行音楽



「ラグタイムの誕生・その背景」

- 1864 Foster 逝去
- 1897 初の黒人 Rag 出版
- 1899 "Maple Leaf Rag" 出版

マーチ形式の伴奏 + フォーク風の
シンコペーションを加えたメロディ。
黒人街の酒場などで演奏されて
いた音楽が、一般社会に普及。



白人文化の象徴・ピアノを黒人が演奏
歌や踊りの伴奏から器楽曲へと発展
印刷楽譜 = 音楽を伝えるメディア

【資料画像引用】Perfessor Bill Edwards.

Ragtime ラグタイム ～ 20世紀初頭の 庶民的・流行音楽



スティーブン C フォスター
(1826 - 1864)

「アメリカ音楽の父」
20年間に約200曲を作曲し
その多くはメロディの親しみ
やすい 黒人歌や農園歌、
ラブソング、郷愁歌である。

1 Beasi-fil dream - er, waken to me, Our lads and dew drops wash our face
2 Beasi-fil dream - er, out of the sea. My maidens chase me the wild, - low.

Beas: Sounds of the rads waint in the day,
Be: O - er the moon, - lit to - o - o - er home.

Lull - by the moon - light here all pass' - awy! Beasi-fil dream - er,
What sug - to fade at the twilight - hour Beasi-fil dream - er,

【資料 引用】 Wikipedia

「ラグタイムの特徴 ～ シンコペーション」

【比較 : ラグタイム以前の曲】

Foster の作品の特徴 …

メロディーは黒人文化の影響

リズムと楽想は白人文化

: シンコペーションしていない

: 構築的な楽節・和声の進行

『 夢路 Beautiful Dreamer 』

原曲 + ラグタイム調の編曲 を

ギター実演で聴いてください！

Ragtime ラグタイム ～ 20世紀初頭の 庶民的・流行音楽

原曲部分のギター編曲

2小節目の頭で半音下がるメロディーが「メランコリー」的な印象をかもし出している。

ラグタイム部分

「ジョプリン様式」を意識して編曲してみました … 結構よくできた？！

ジョプリンの音楽の特徴: 多様なシンコペーション、メランコリーな和声の挿入、

工夫されたベースライン、構築的でストーリー的な楽節の構成

Ragtime

ラグタイム ～ 20世紀初頭の 庶民的・流行音楽



1899年 出版
100万部を売る
ロイヤリティー契約が
彼の生活を支えた



ラグタイム・ブームを巻き起こし、
似通った曲が多く生まれた。
Big3の二人も、デビュー作には
直接の影響が認められる。
※お約束的な意味合いも？

【画像資料 引用】 Wikipedia, MIDI by Perfessor Bill Edwrds & Ragtime Betty.

「ラグタイムの有名作曲家 ～ Big 3 」

スコット・ジョプリン Scott Joplin

～ 黒人 “ラグタイム王”と呼ばれた

ジェームズ・スコット James Scott

～ 黒人 技巧的なピアノ曲が多い

ジョセフ・ラム Joseph F. Lamb

～ 白人 大戦後も生存し曲を発表

※ 主に **スターク社** から 楽譜を出版

『 **メープル・リーフ・ラグ Maple Leaf Rag** 』

ラグタイム歴史上の最大ヒット作

※意識的に創作された構成美が特徴

Ragtime

ラグタイム ～ 20世紀初頭の 庶民的・流行音楽



ミズーリ州・州都セントルイス

右: 1910年の
ニューヨーク

下: ジョプリン
基金のサイト



「スコット・ジョプリン Scott Joplin ～ King of Ragtime 」

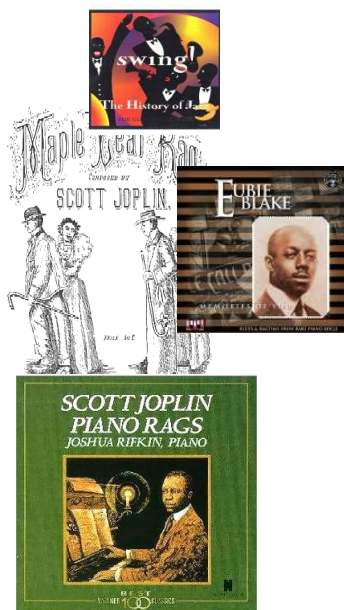
ラグタイム最大の作曲家であり、米国の音楽
・文化史においても重要な人物。

若き頃から流しのピアニストとして遍歴の末
に、ミズーリ州セダリアに居を定め、当地で
“メープル・リーフ・ラグ”を作曲、一躍「時の
人」となる。その後、セントルイス、ニューヨ
ークと転居しながらより広範なニーズを求めつ
つ、作品の価値向上を通じて黒人の自立的
な意識向上をも追及した。(1868～1917)

ジョプリン自身は芸術的な高みを
目指しオペラ『**Treemonisha**』を
作曲するが、興行はできず…

【画像資料 引用】 Photographs of America, The Scott Joplin International Ragtime Foundation

Ragtime ラグタイム ～ 20世紀初頭の 庶民的・流行音楽



【画像資料 引用】 Amazon

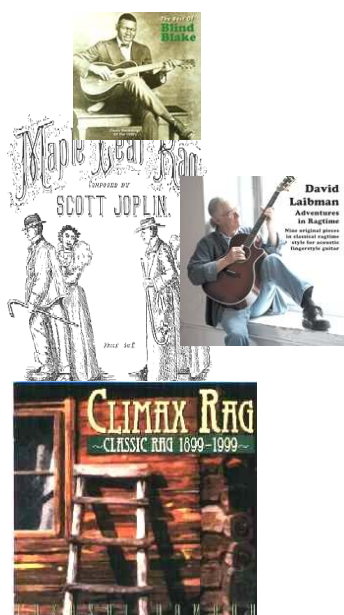
「ラグタイムの終焉 ～ ラグタイムの復興」

第一次大戦の頃から「スイング」する音楽がメジャーとなり、これがジャズに推移。一部のラグタイム曲がジャズの素材として残った他は“時代に忘れられた音楽”となっていた。

しかし、熱心な愛好家の活動が理解を広げ、特にリフキンのラグタイム演奏(1970～)は、楽譜に忠実に演奏することで原曲とジョプリンの才能そのものに光を当てることに成功、クラシックチャートでのヒットを記録した。

映画『スティング』に前後して
“ラグタイムの復興”が起こり、
今日もCM等で曲が聞かれている。

Ragtime ラグタイム ～ 20世紀初頭の 庶民的・流行音楽



【画像資料 引用】 Amazon, Stefan Grossman Guitar Workshop, Otaruai Record

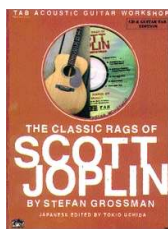
「ラグタイム・ギター ～ 変遷とバリエーション」

● 初期 ラグタイム・ギター (1920年頃～)
ブラインド・ブレイクなど米国の黒人カントリーブルースマンが、ピアノラグタイム曲を模倣して演奏したもの。

● 現代 ラグタイム・ギター (1970年頃～)
フォークブームの中で「発展的素材」として、ジョプリン等のクラシックラグタイムをギター編曲する動きが活発化。ムーブメントを育んだステファン・グロスマンの功績は大きい。

現在では世界各国で愛好家が演奏、
中でも浜田隆史さんは、ラグタイム
の本質を独自の編曲で表現している。

Ragtime ラグタイム ～ 20世紀初頭の 庶民的・流行音楽



【画像資料 引用】 TAB Guitar School, YouTube

「さいごに …
ぜひ 弾いてみてください！」

私は、1999年頃から自分自身でラグタイム・ピアノ編曲を開始しました。聴くのも好きですが、自分で弾く楽しさは格別です。※ただし「一見すると地味なのに、やたらに難しい」のが玉に瑕…

【お勧め楽譜集 発売: TABギタースクール】
「クラシック・ラグズ・オブ・スコット・ジョプリン」
「ラグタイム・ギター」 ※共に、CDつき

最後は映画『ベンジャミン・バトン』
でも使用された ジョプリンの代表曲
“ Elite Syncopations ” で…

Ragtime ラグタイム ～ 20世紀初頭の 庶民的・流行音楽



ピアニストにお勧めの楽譜集
池宮正信 編集解説
世界的なラグタイムピアニスト
池宮さんの手による楽譜集。
国内では最高の一冊です！
特にラグタイム解説は必読！

【画像資料 引用】 Amazon

♪ 参考文献 ♪

- 「ラグタイムを弾こう」
池宮正信 ヤマハミュージックメディア
- 「ジャズの歴史」
フランク・ティロー 音楽之友社
- 「King of Ragtime: Scott Joplin and His Era」
Edward A. Berlin Oxford University Press, Inc.
- 「Rags and Ragtime: A MUSICAL HISTORY」
David A. Jasen & Trebor Jay Tichenor Dover
- 「クライマックス・ラグ」
浜田隆史 TABギタースクール
- 「Ragtime Betty」 ※Website
K. Muromachi <http://www.ragtime-betty.com/>
- ※その他、掲載の各種サイトなど